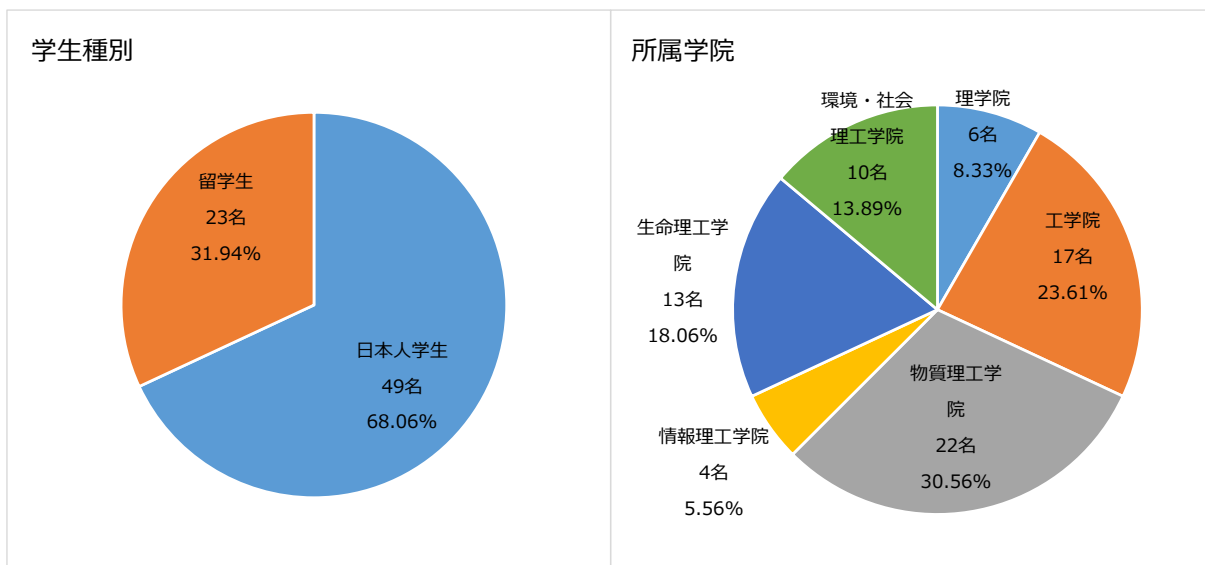


令和3年度 教育改善に関するアンケート〈博士後期課程〉

基本統計量

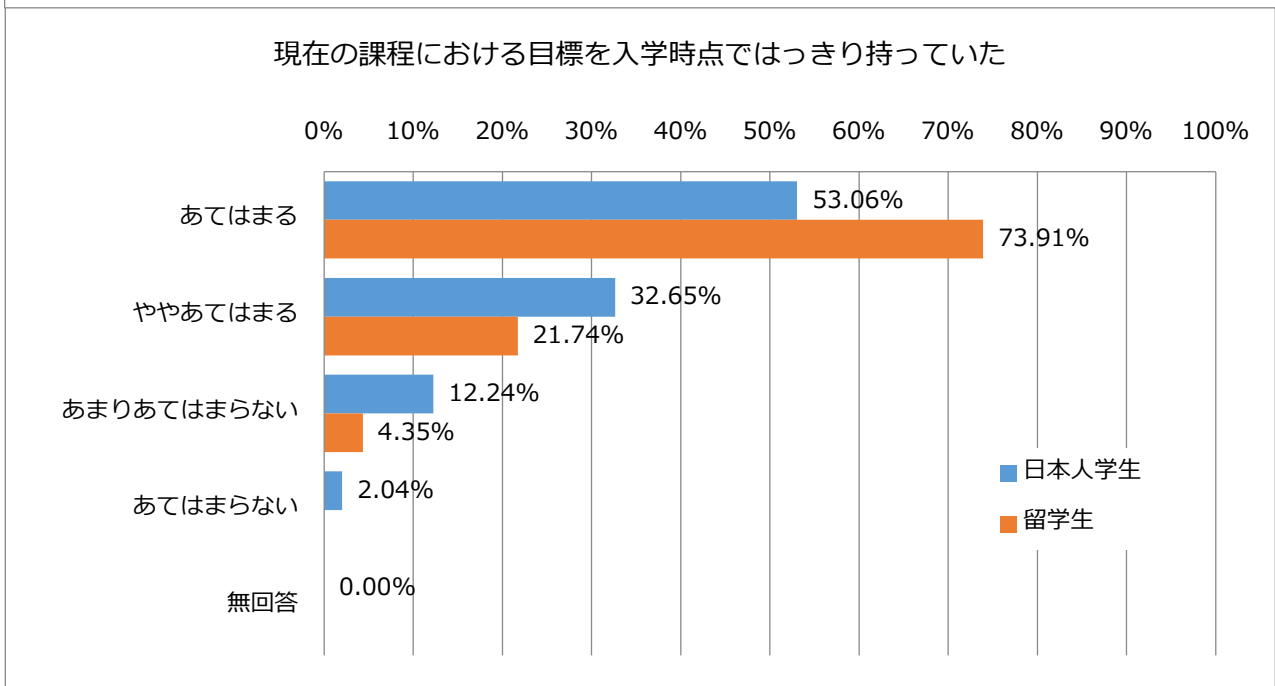
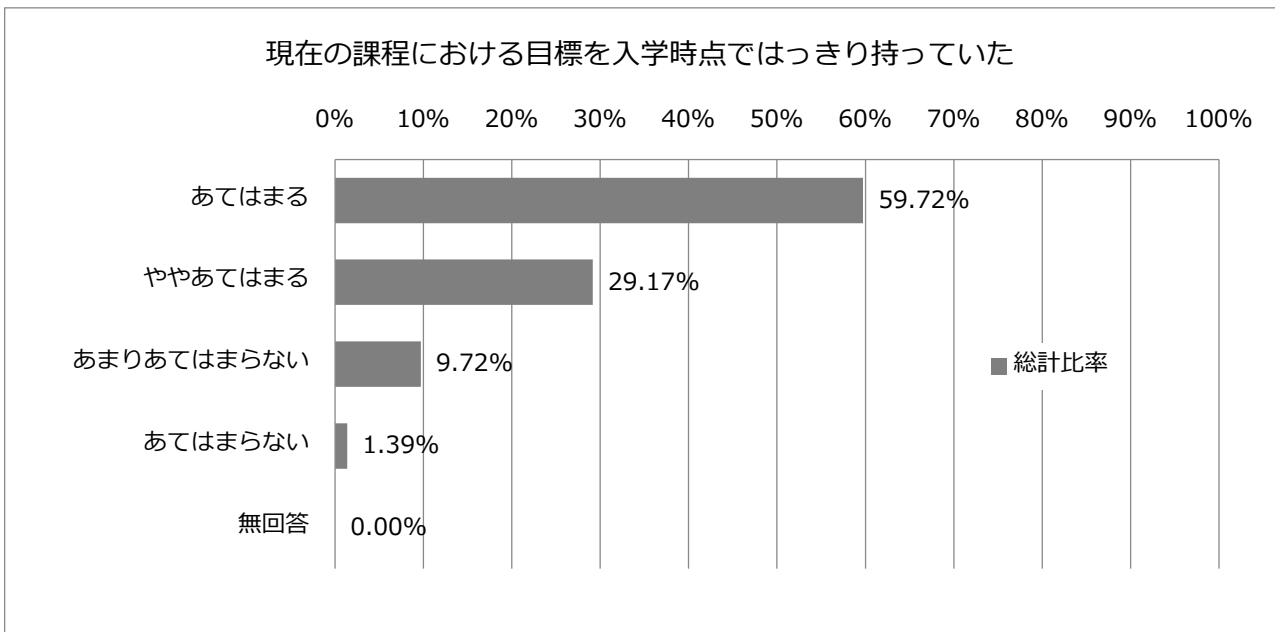


学生種別	人数	割合
日本人学生	49	68.06%
留学生	23	31.94%
総計	72	100.00%

所属学院	人数	割合
理学院	6	8.33%
工学院	17	23.61%
物質理工学院	22	30.56%
情報理工学院	4	5.56%
生命理工学院	13	18.06%
環境・社会理工学院	10	13.89%
総計	72	100.00%

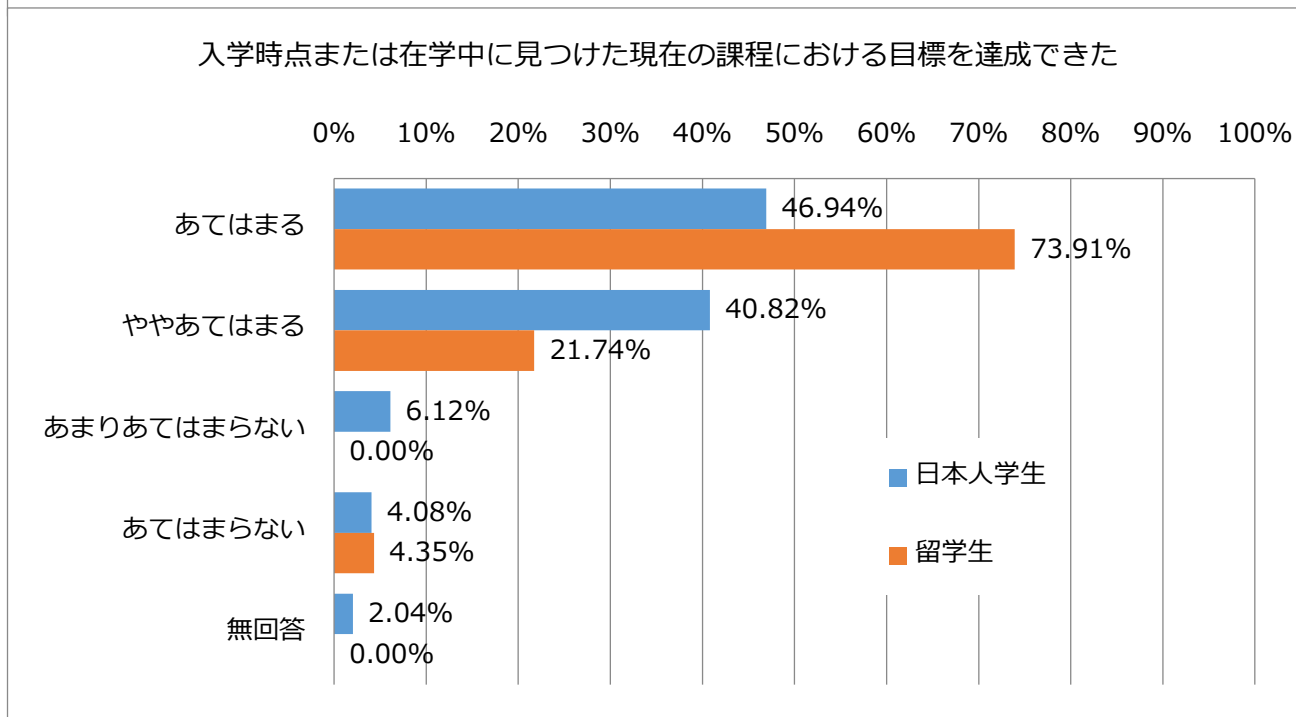
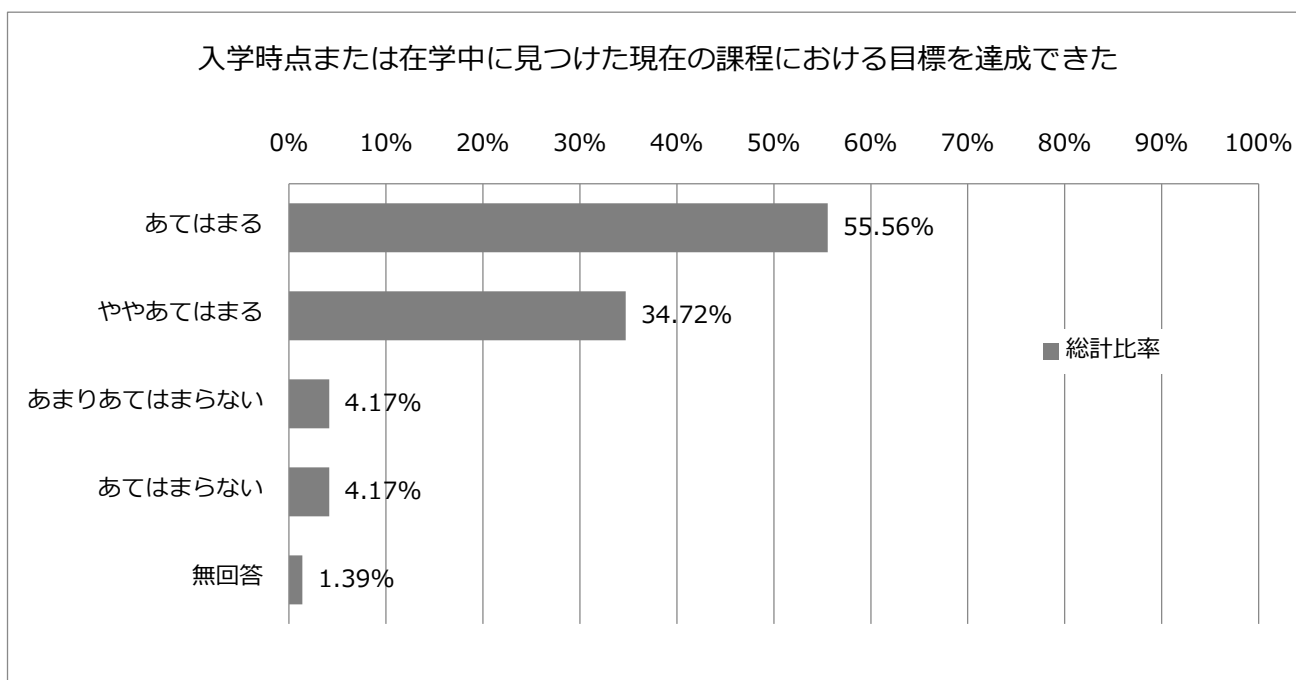
問1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問 1. 課程における目標について

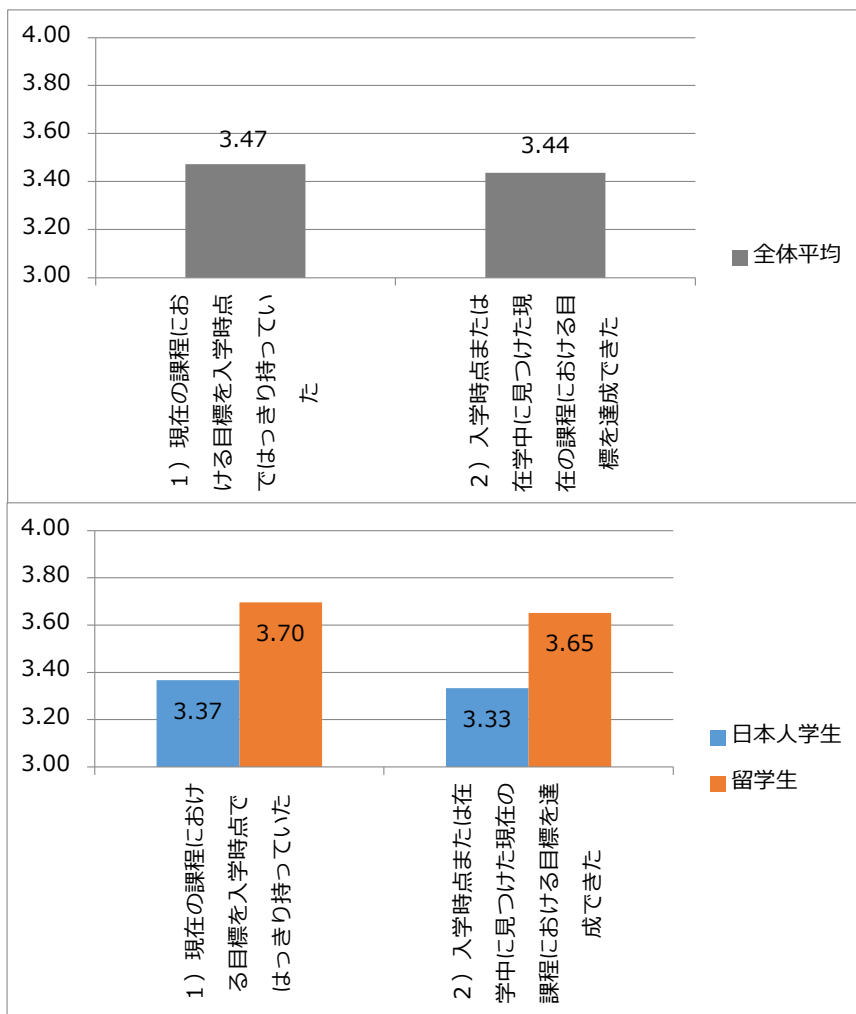
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた



問 1. 課程における目標について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.47	3.37	3.70
2) 入学時点または在学中に見つけた現在の課程における目標を達成できた	3.44	3.33	3.65

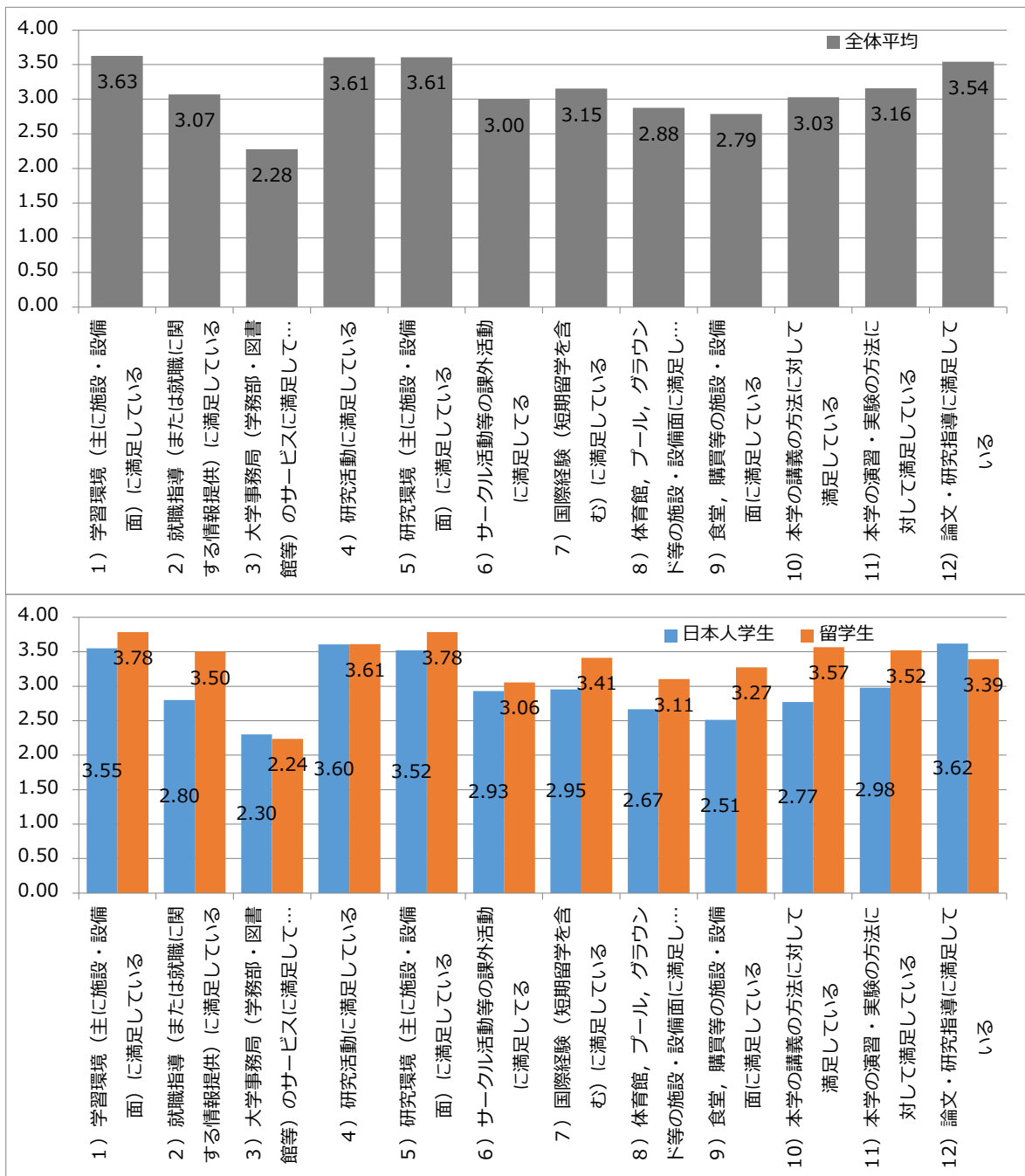
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.63	3.55	3.78
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	3.07	2.80	3.50
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	2.28	2.30	2.24
4) 研究活動に満足している	3.61	3.60	3.61
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.61	3.52	3.78
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.00	2.93	3.06
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	3.15	2.95	3.41
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	2.88	2.67	3.11
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.79	2.51	3.27
10) 本学の講義の方法に対して満足している	3.03	2.77	3.57
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.16	2.98	3.52
12) 論文・研究指導に満足している	3.54	3.62	3.39

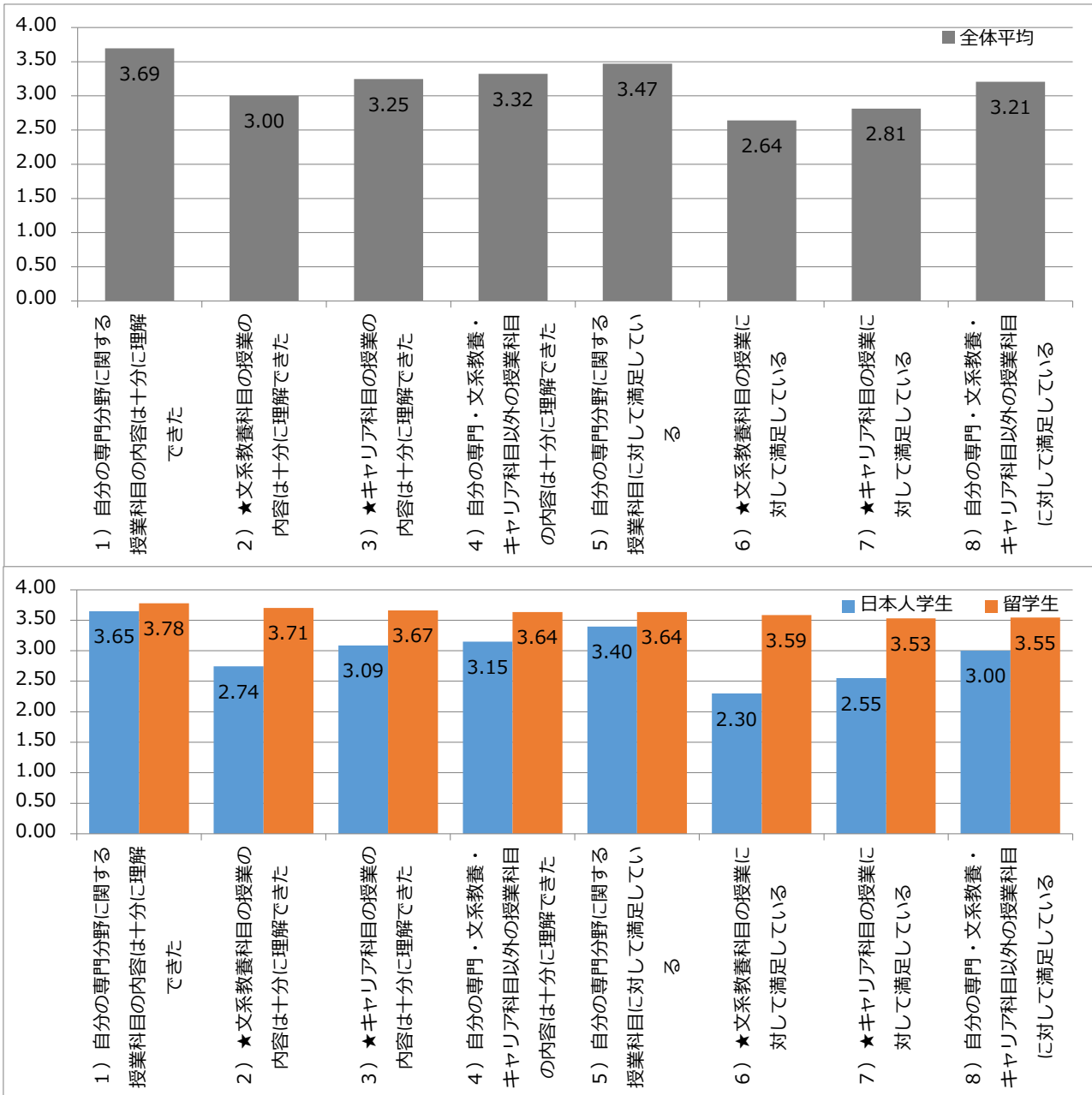
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には「履修していない」以外を選択してください

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.69	3.65	3.78
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	3.00	2.74	3.71
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.25	3.09	3.67
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.32	3.15	3.64
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.47	3.40	3.64
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	2.64	2.30	3.59
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	2.81	2.55	3.53
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.21	3.00	3.55

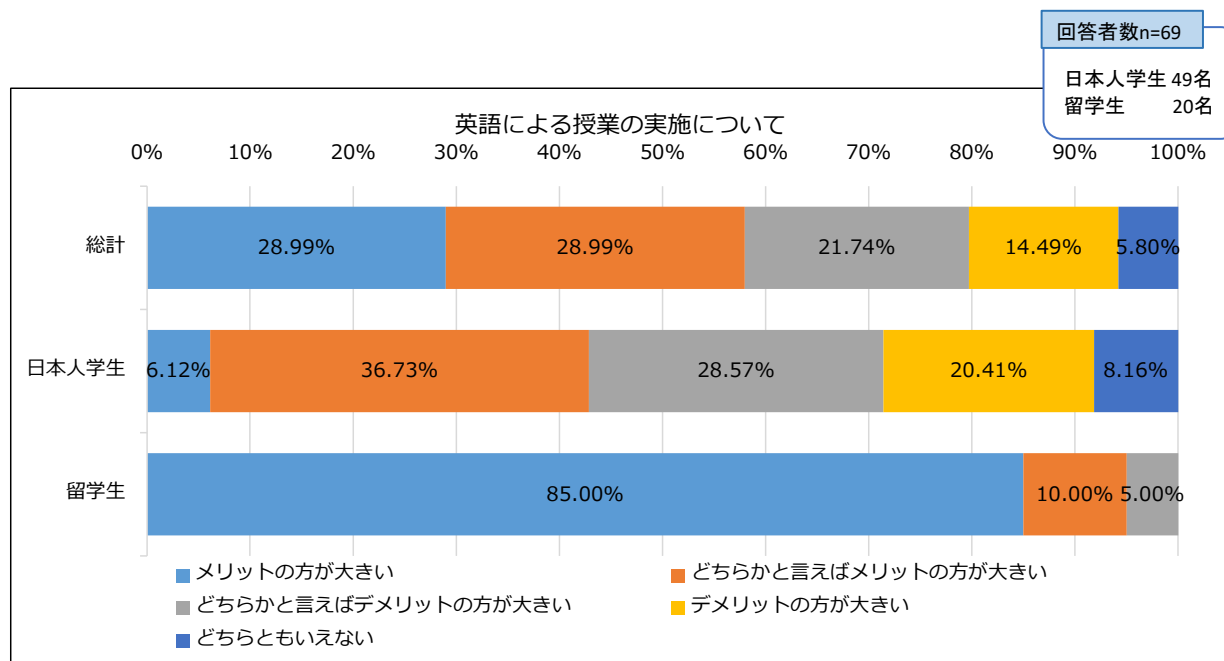
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業の実施について

1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

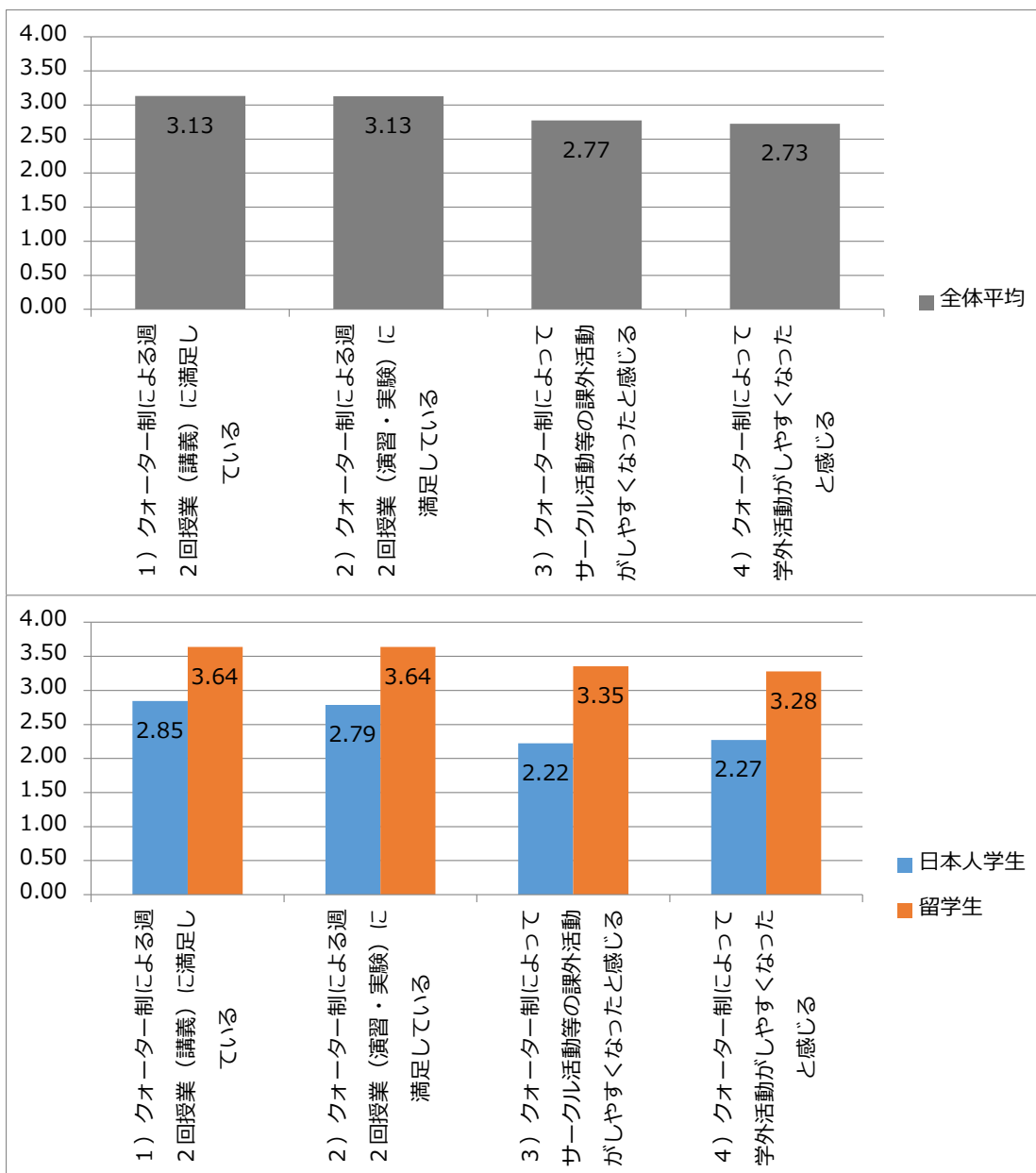
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
メリットの方が大きい	20名	28.99%	3名	6.12%	17名	85.00%
どちらかと言えばメリットの方が大きい	20名	28.99%	18名	36.73%	2名	10.00%
どちらかと言えばデメリットの方が大きい	15名	21.74%	14名	28.57%	1名	5.00%
デメリットの方が大きい	10名	14.49%	10名	20.41%	0名	0.00%
どちらともいえない	4名	5.80%	4名	8.16%	0名	0.00%
回答者計	69名	100.00%	49名	100.00%	20名	100.00%
無回答	3名		0名		3名	



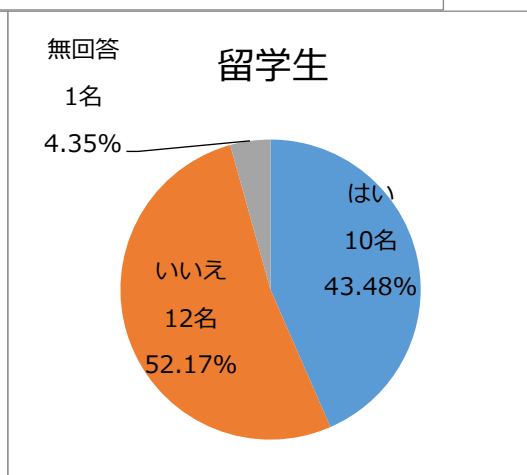
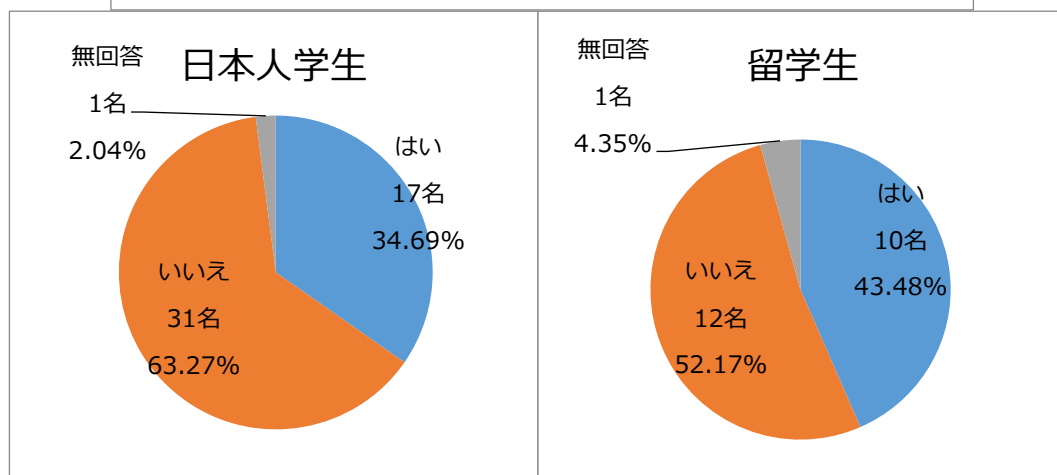
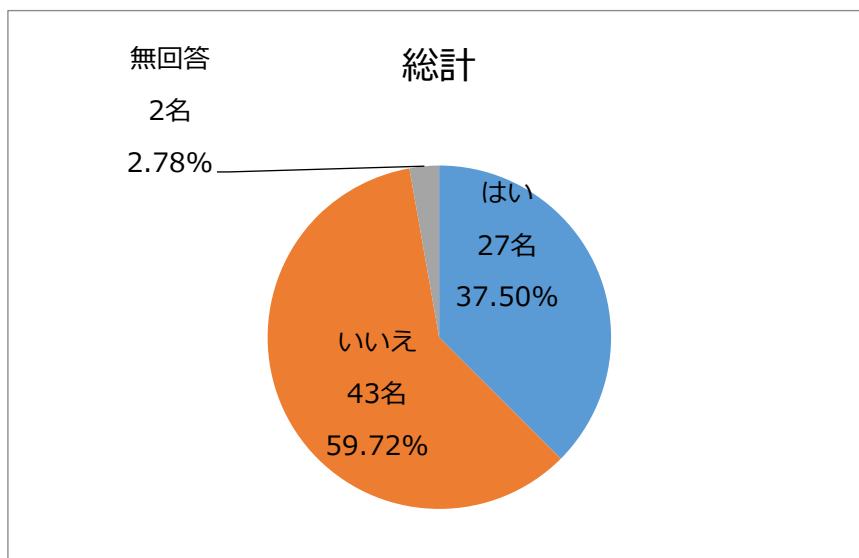
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.13	2.85	3.64
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	3.13	2.79	3.64
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.77	2.22	3.35
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.73	2.27	3.28

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

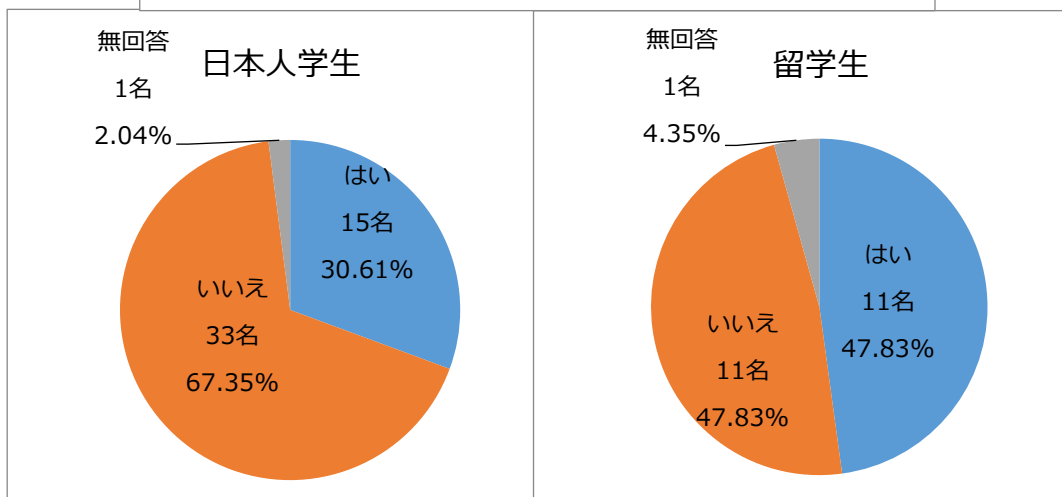
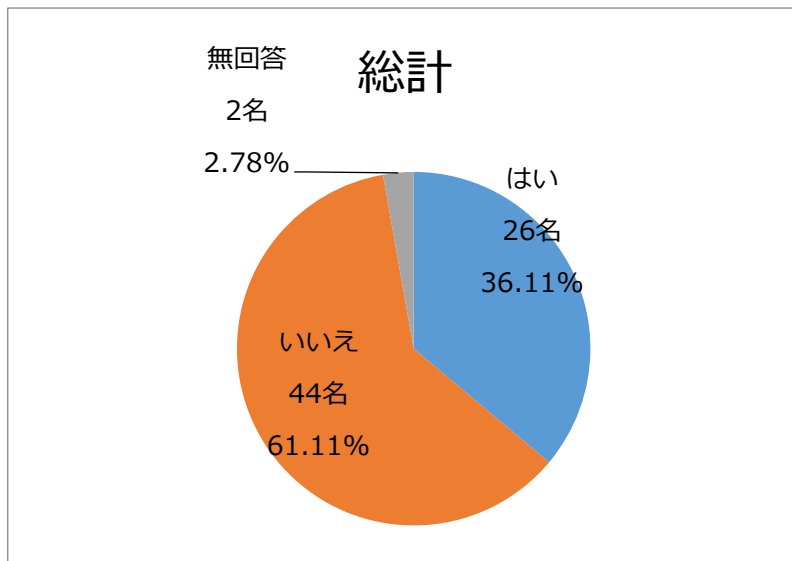


問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある

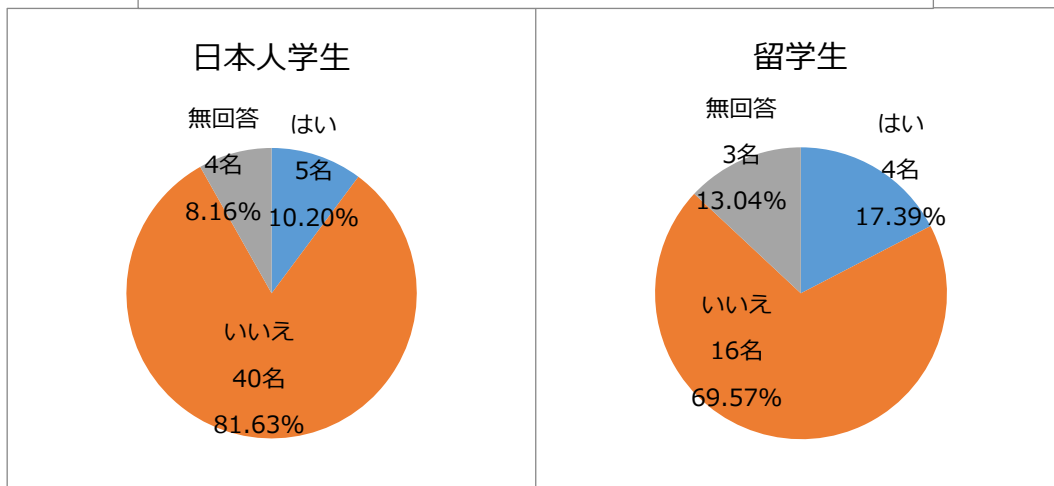
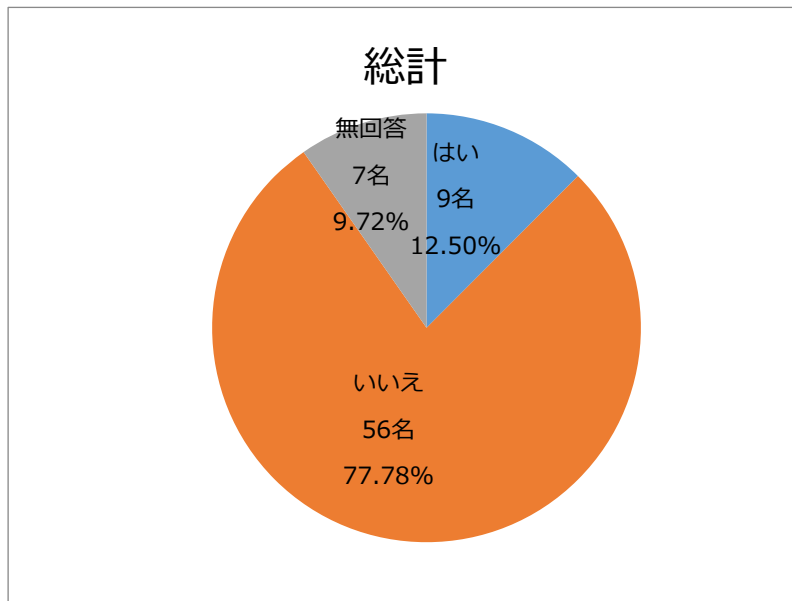


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



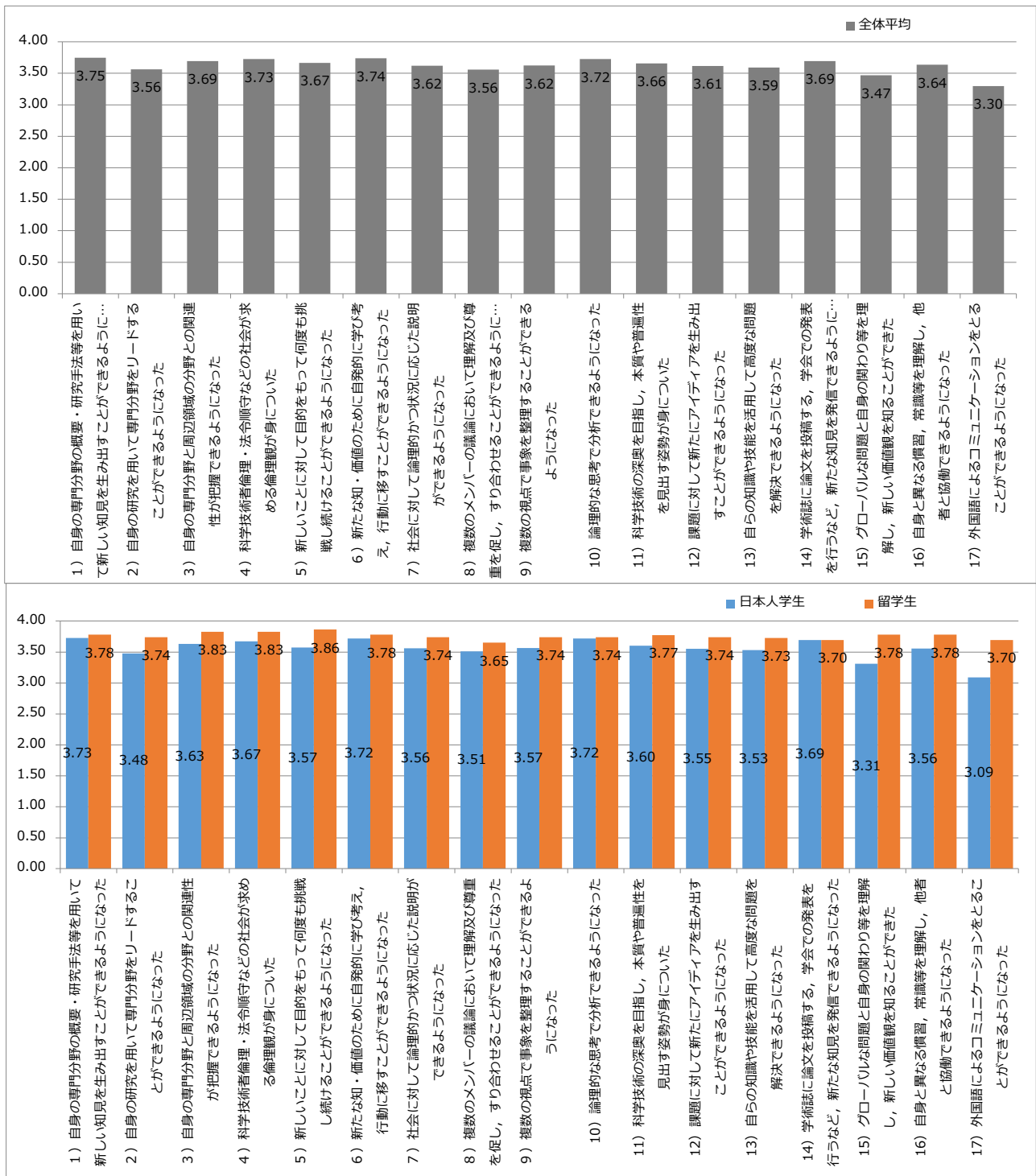
問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	3.75	3.73	3.78
2) 自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった	3.56	3.48	3.74
3) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.69	3.63	3.83
4) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.73	3.67	3.83
5) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	3.67	3.57	3.86
6) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	3.74	3.72	3.78
7) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.62	3.56	3.74
8) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせるができるようになった	3.56	3.51	3.65
9) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	3.62	3.57	3.74
10) 論理的な思考で分析できるようになった	3.72	3.72	3.74
11) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	3.66	3.60	3.77
12) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.61	3.55	3.74
13) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	3.59	3.53	3.73
14) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	3.69	3.69	3.70
15) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.47	3.31	3.78
16) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.64	3.56	3.78
17) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	3.30	3.09	3.70

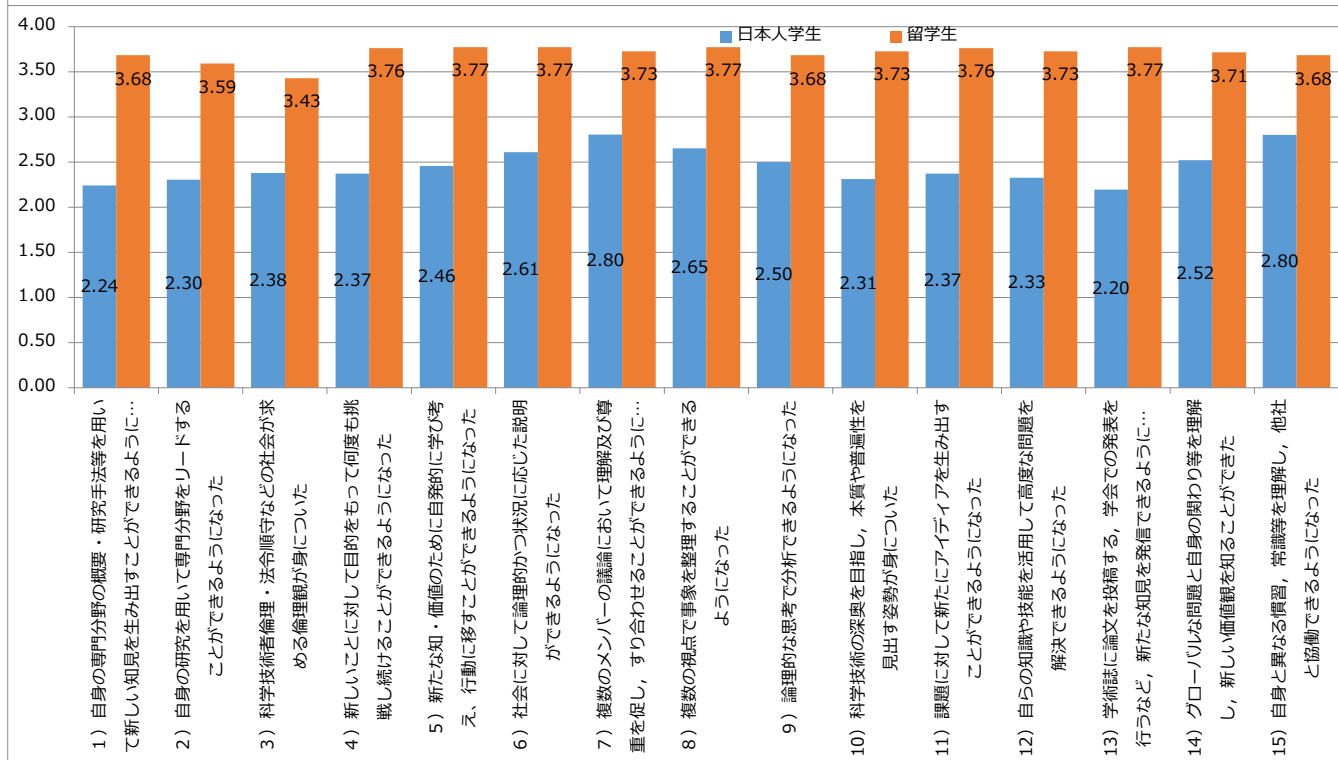
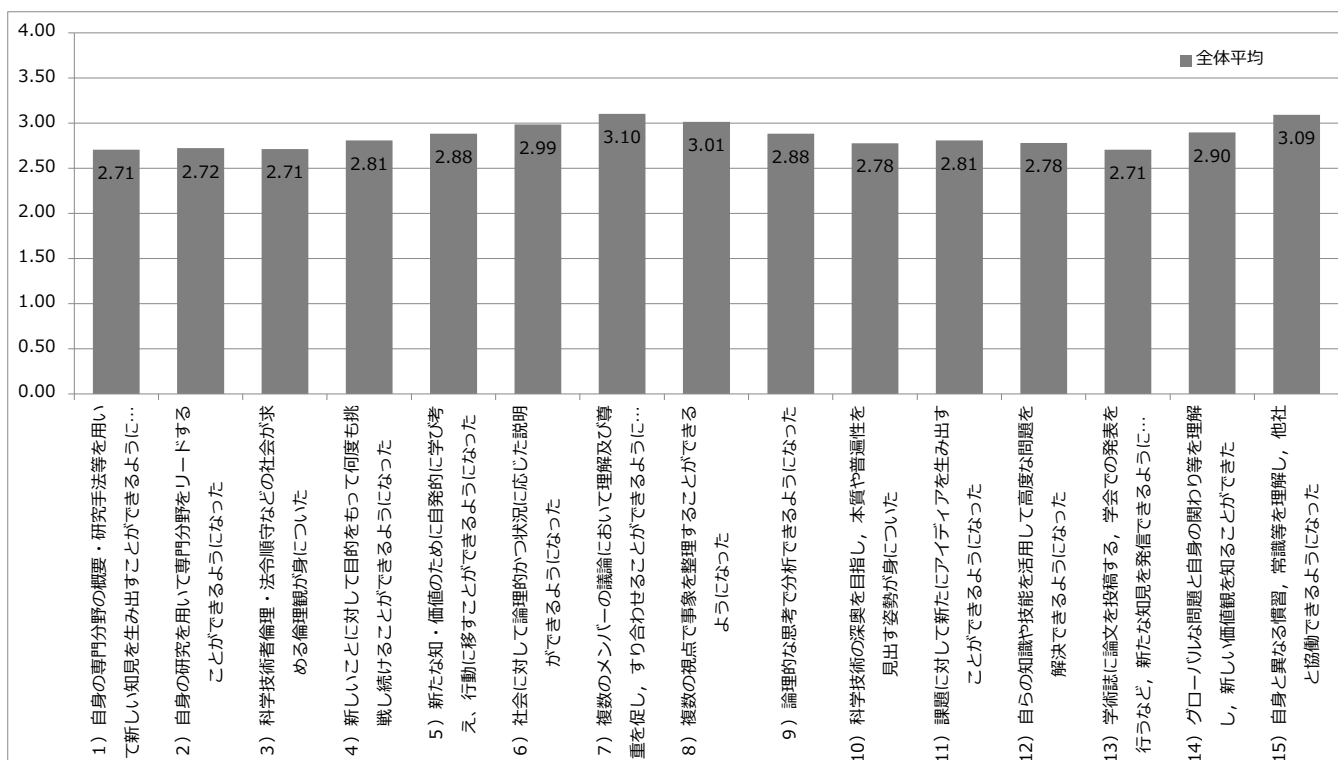
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問7. 博士教養科目（「教養先端科目」、「学生プロデュース科目」）を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	2.71	2.24	3.68
2) 自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった	2.72	2.30	3.59
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	2.71	2.38	3.43
4) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	2.81	2.37	3.76
5) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	2.88	2.46	3.77
6) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	2.99	2.61	3.77
7) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせるできるようになった	3.10	2.80	3.73
8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	3.01	2.65	3.77
9) 論理的な思考で分析できるようになった	2.88	2.50	3.68
10) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	2.78	2.31	3.73
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	2.81	2.37	3.76
12) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	2.78	2.33	3.73
13) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	2.71	2.20	3.77
14) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.90	2.52	3.71
15) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他社と協働できるようになった	3.09	2.80	3.68

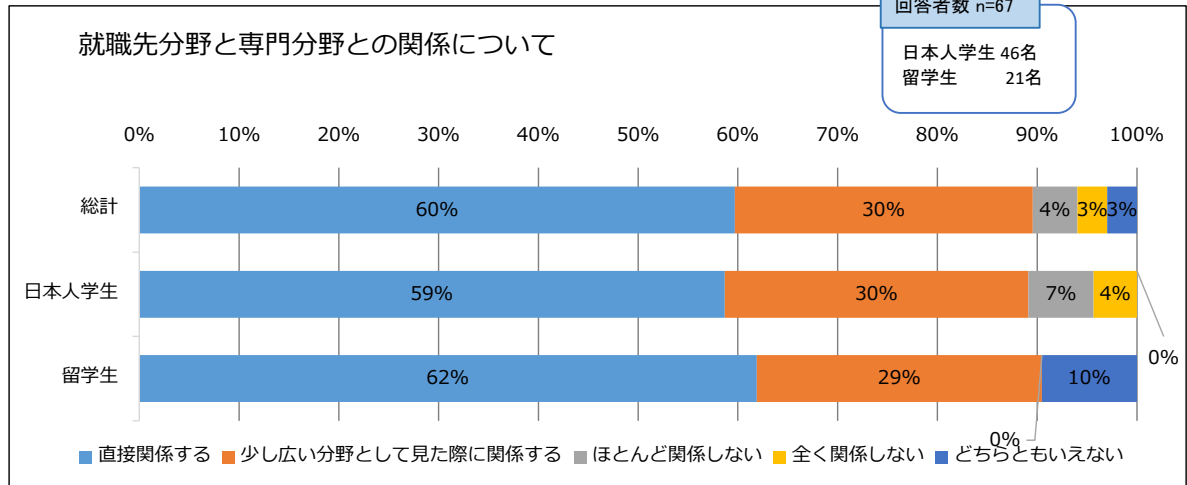
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問8. 就職までに至るまでの状況について

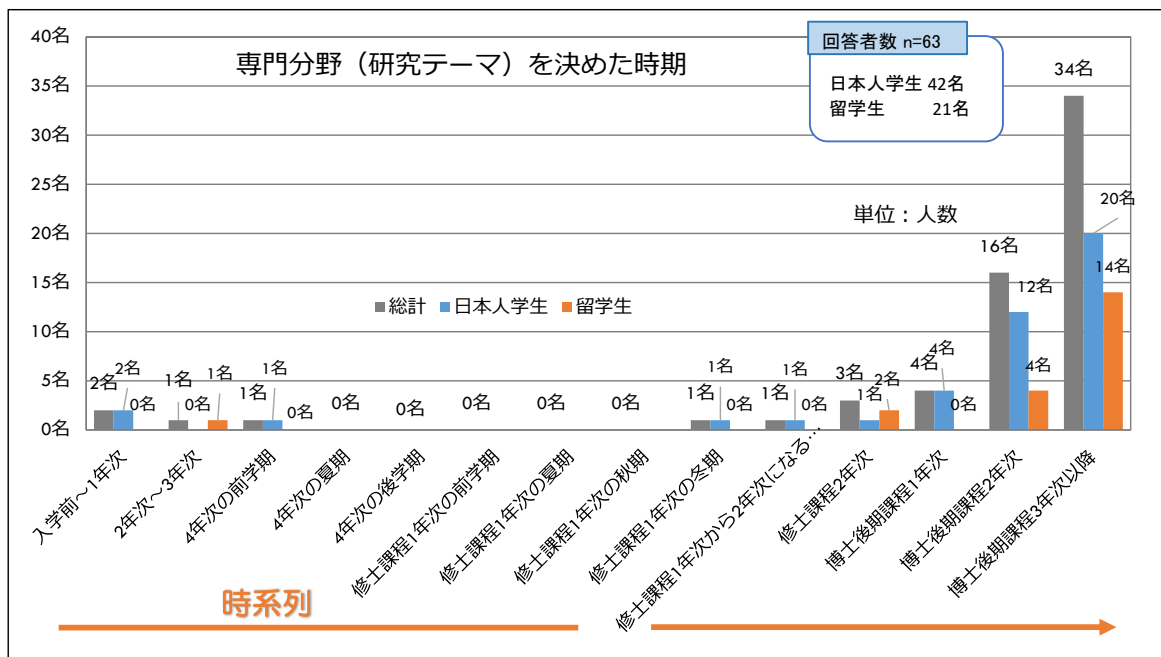
2) 就職先は、学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
直接関係する	40名	60%	27名	59%	13名	62%
少し広い分野として見た際に関係する	20名	30%	14名	30%	6名	29%
ほとんど関係しない	3名	4%	3名	7%	0名	0%
全く関係しない	2名	3%	2名	4%	0名	0%
どちらともいえない	2名	3%	0名	0%	2名	10%
回答者計	67名	100%	46名	100%	21名	100%
無回答	5名		3名		2名	



4) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について最もふさわしいものを1つ選択してください。

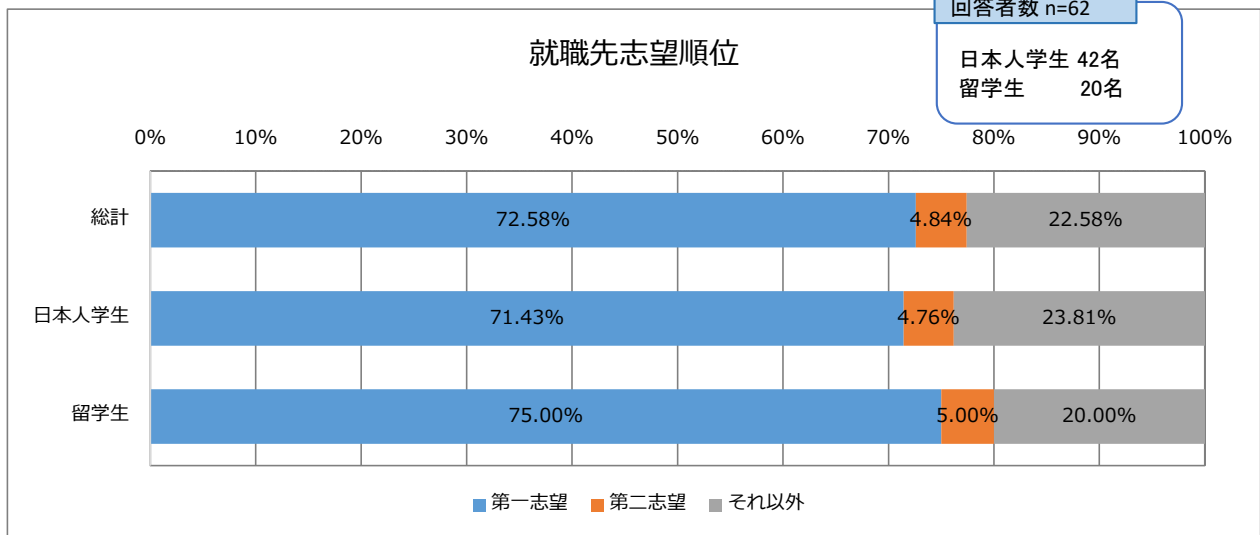
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	2名	3.17%	2名	4.76%	0名	0.00%
2年次～3年次	1名	1.59%	0名	0.00%	1名	4.76%
4年次の前学期	1名	1.59%	1名	2.38%	0名	0.00%
4年次の夏期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
4年次の後学期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
修士課程1年次の前学期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
修士課程1年次の夏期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
修士課程1年次の秋期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
修士課程1年次の冬期	1名	1.59%	1名	2.38%	0名	0.00%
修士課程1年次から2年次になる春期	1名	1.59%	1名	2.38%	0名	0.00%
修士課程2年次	3名	4.76%	1名	2.38%	2名	9.52%
博士後期課程1年次	4名	6.35%	4名	9.52%	0名	0.00%
博士後期課程2年次	16名	25.40%	12名	28.57%	4名	19.05%
博士後期課程3年次以降	34名	53.97%	20名	47.62%	14名	66.67%
回答者計	63名	100.00%	42名	100.00%	21名	100.00%
無回答	9名		7名		2名	



問8. 就職までに至るまでの状況について

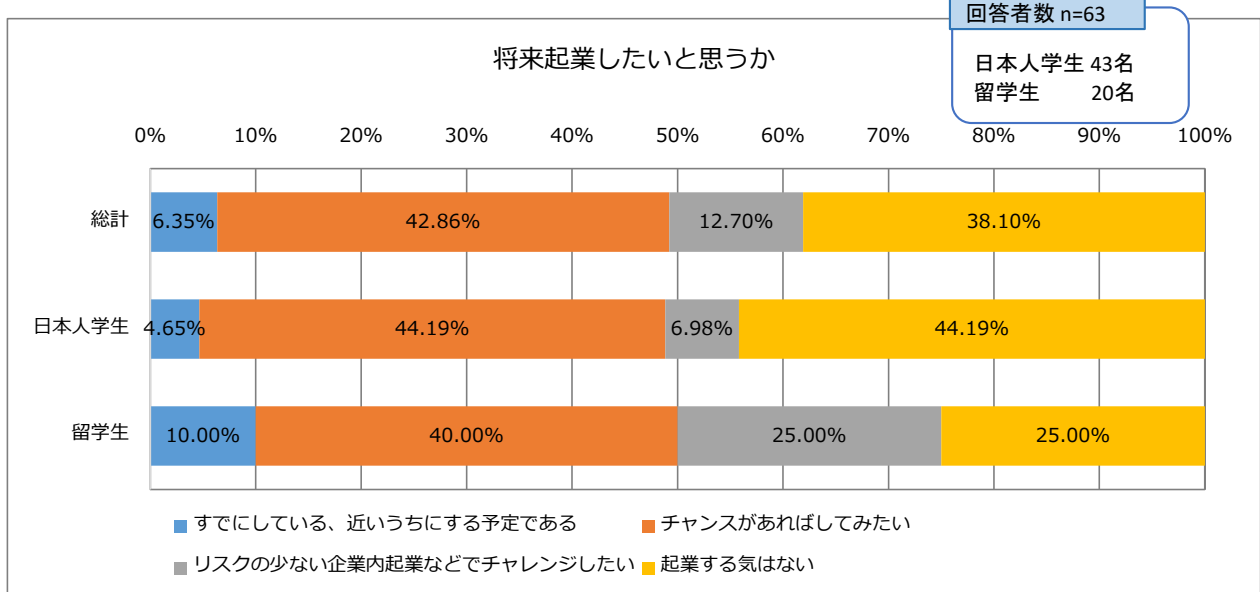
5) 就職先の志望順位について選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第一志望	45名	72.58%	30名	71.43%	15名	75.00%
第二志望	3名	4.84%	2名	4.76%	1名	5.00%
それ以外	14名	22.58%	10名	23.81%	4名	20.00%
回答者計	62名	100.00%	42名	100.00%	20名	100.00%
無回答	10名		7名		3名	



6) 将来的に起業したいと思いますか。最もふさわしいものを1つ選択ください。

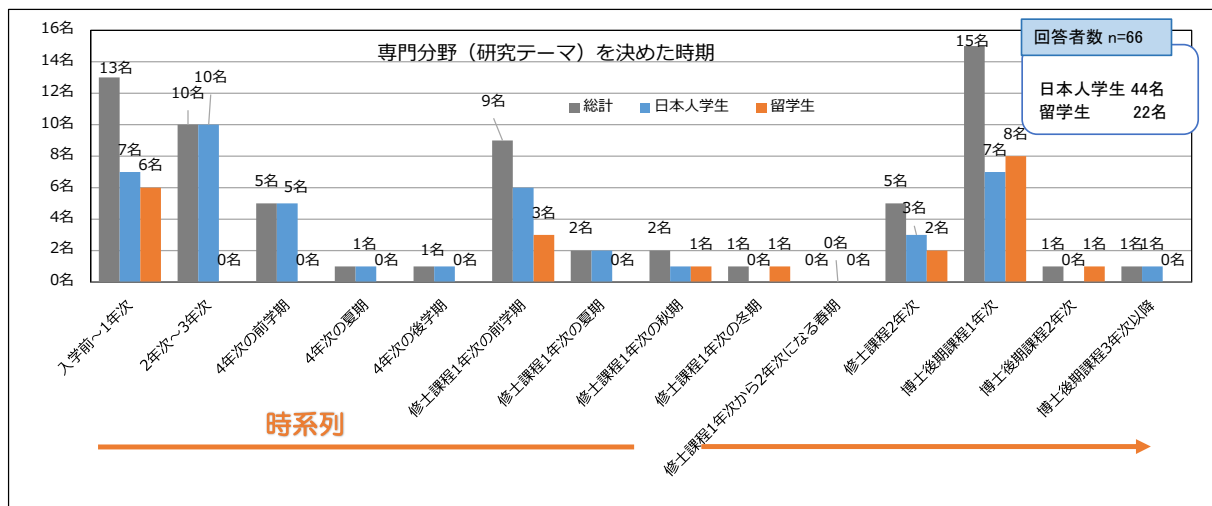
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
すでに行っている、近いうちにする予定である	4名	6.35%	2名	4.65%	2名	10.00%
チャンスがあればしてみたい	27名	42.86%	19名	44.19%	8名	40.00%
リスクの少ない企業内起業などでチャレンジしたい	8名	12.70%	3名	6.98%	5名	25.00%
起業する気はない	24名	38.10%	19名	44.19%	5名	25.00%
回答者計	63名	100.00%	43名	100.00%	20名	100.00%
無回答	9名		6名		3名	



問8. 就職までに至るまでの状況について

7) いくつか具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

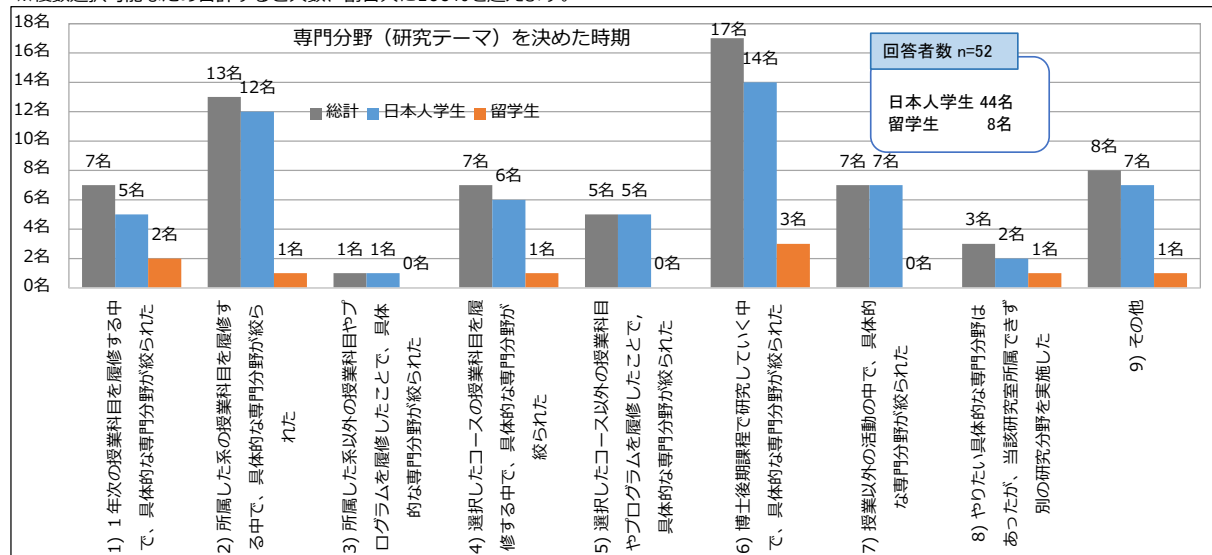
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	13名	20%	7名	16%	6名	27%
2年次～3年次	10名	15%	10名	23%	0名	0%
4年次の前学期	5名	8%	5名	11%	0名	0%
4年次の夏期	1名	2%	1名	2%	0名	0%
4年次の後学期	1名	2%	1名	2%	0名	0%
修士課程1年次の前学期	9名	14%	6名	14%	3名	14%
修士課程1年次の夏期	2名	3%	2名	5%	0名	0%
修士課程1年次の秋期	2名	3%	1名	2%	1名	5%
修士課程1年次の冬期	1名	2%	0名	0%	1名	5%
修士課程1年次から2年次になる春期	0名	0%	0名	0%	0名	0%
修士課程2年次	5名	8%	3名	7%	2名	9%
博士後期課程1年次	15名	23%	7名	16%	8名	36%
博士後期課程2年次	1名	2%	0名	0%	1名	5%
博士後期課程3年次以降	1名	2%	1名	2%	0名	0%
回答者計	66名	100%	44名	100%	22名	100%
無回答	6名		5名		1名	



8) 具体的な専門分野(研究テーマなど)をどのように絞っていききましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。（複数回答）
 (他大学から本学に入学された学生へ：系は学科相当、コースは専攻に読み替えて回答ください。)

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 1年次の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	7名	13.46%	5名	11.36%	2名	25.00%
2) 所属した系の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	13名	25.00%	12名	27.27%	1名	12.50%
3) 所属した系以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	1名	1.92%	1名	2.27%	0名	0.00%
4) 選択したコースの授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	7名	13.46%	6名	13.64%	1名	12.50%
5) 選択したコース以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	5名	9.62%	5名	11.36%	0名	0.00%
6) 博士後期課程で研究していく中で、具体的な専門分野が絞られた	17名	32.69%	14名	31.82%	3名	37.50%
7) 授業以外の活動の中で、具体的な専門分野が絞られた	7名	13.46%	7名	15.91%	0名	0.00%
8) やりたい具体的な専門分野はあったが、当該研究室所属できず別の研究分野を実施した	3名	5.77%	2名	4.55%	1名	12.50%
9) その他	8名	15.38%	7名	15.91%	1名	12.50%
回答者計	52名	100%	44名	100%	8名	100%
無回答	20名		5名		15名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

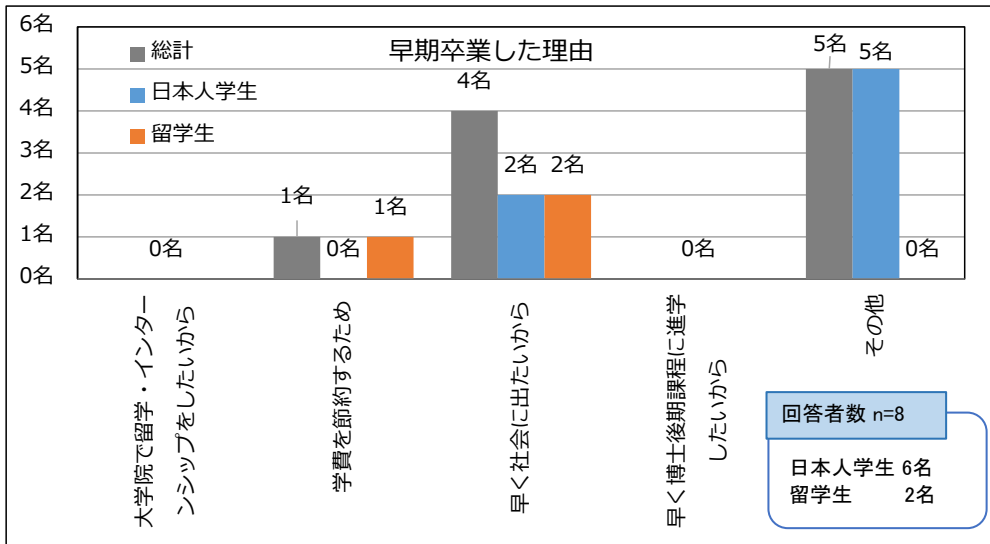


問8. 就職までに至るまでの状況について

9) 早期卒業した方は、その理由を選択してください。(複数回答可)

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学院で留学・インターンシップをしたいから	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
学費を節約するため	1名	12.50%	0名	0.00%	1名	50.00%
早く社会に出たいから	4名	50.00%	2名	33.33%	2名	100.00%
早く博士後期課程に進学したいから	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
その他	5名	62.50%	5名	83.33%	0名	0.00%
回答者計	8名	100%	6名	100%	2名	100%
無回答	64名		43名		21名	

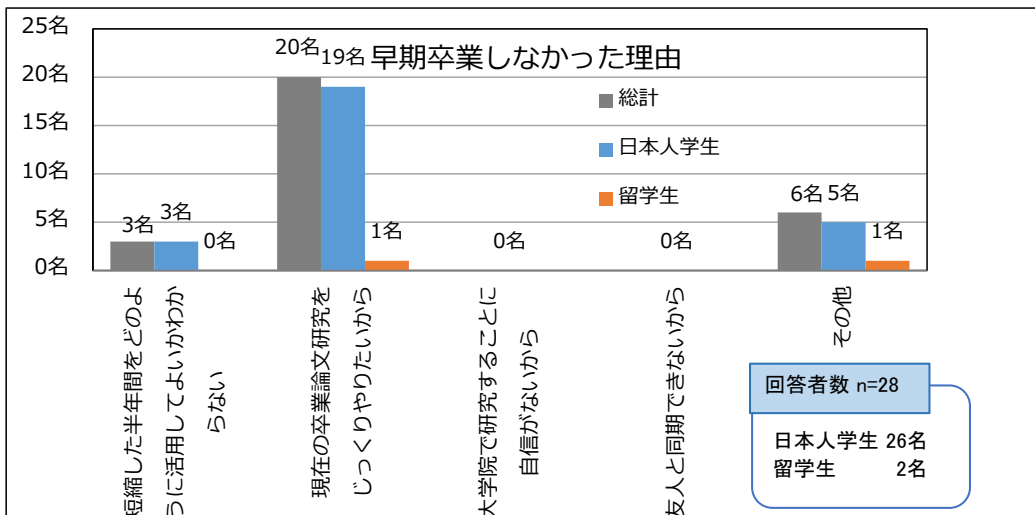
※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



10) 早期卒業をしなかった方は、その理由を選択してください。(複数回答可)

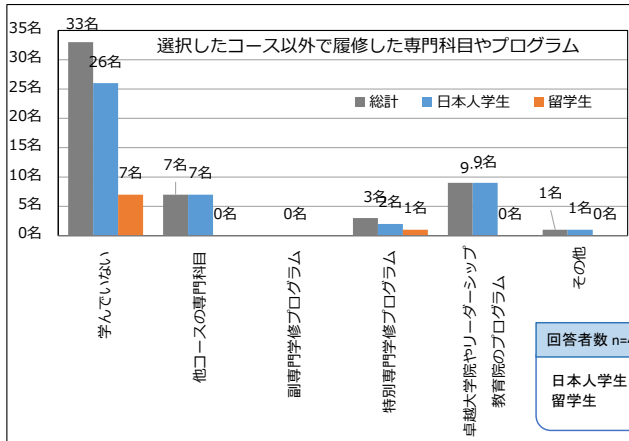
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
短縮した半年間をどのように活用してよいかわからない	3名	10.71%	3名	11.54%	0名	0.00%
現在の卒業論文研究をじっくりやりたいから	20名	71.43%	19名	73.08%	1名	50.00%
大学院で研究することに自信がないから	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
友人と同期できないから	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
その他	6名	21.43%	5名	19.23%	1名	50.00%
回答者計	28名	100%	26名	100%	2名	100%
無回答	44名		23名		21名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



問8. 就職までに至るまでの状況について

11) 選択したコースのカリキュラム以外(文系教養科目、キャリア科目を除く)で履修した専門科目やプログラムを選択してください。(複数回答可)

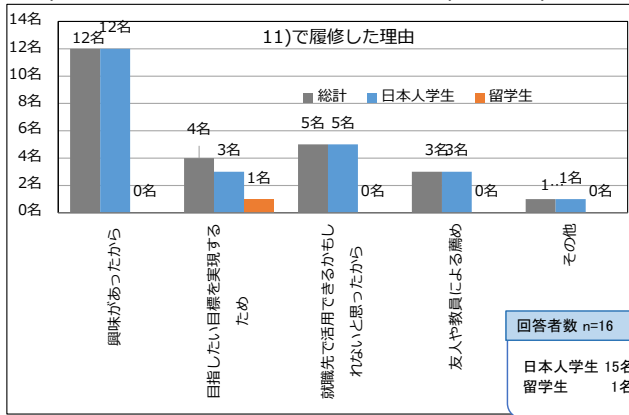


回答者数 n=49
日本人学生 41名
留学生 8名

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学んでいない	33名	67%	26名	63%	7名	88%
他コースの専門科目	7名	14%	7名	17%	0名	0%
副専門学修プログラム	0名	0%	0名	0%	0名	0%
特別専門学修プログラム	3名	6%	2名	5%	1名	13%
卓越大学院やリーダーシップ教育院のプログラム	9名	18%	9名	22%	0名	0%
その他	1名	2%	1名	2%	0名	0%
回答者計	49名	100%	41名	100%	8名	100%
無回答	23名		15名		8名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

12) 11)で履修した方は、その理由を選択してください。(複数回答可)



回答者数 n=16
日本人学生 15名
留学生 1名

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
興味があったから	12名	75%	12名	80%	0名	0%
目指したい目標を実現するため	4名	25%	3名	20%	1名	100%
就職先で活用できるかもしれない	5名	31%	5名	33%	0名	0%
友人や教員による薦め	3名	19%	3名	20%	0名	0%
その他	1名	6%	1名	7%	0名	0%
回答者計	16名	100%	15名	100%	1名	100%
無回答	56名		34名		22名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

13) 11)で履修した方は、将来、本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
強くそう思う	13名	54%	8名	47%	5名	71%
そう思う	11名	46%	9名	53%	2名	29%
そう思わない	0名	0%	0名	0%	0名	0%
全く思わない	0名	0%	0名	0%	0名	0%
どちらともいえない	0名	0%	0名	0%	0名	0%
回答者計	24名	100%	17名	100%	7名	100%
無回答	48名		32名		16名	

回答者数 n=24
日本人学生 17名
留学生 7名

